

知多社会科同好会 自主研修会通信 No.89

平成30年10月26日 第92回

～消滅可能性都市だけど、けっこうすごい美浜町で、歴史を作る人を作る話～

今回は特別講演会として、林達之先生（美浜町立布土小学校教諭）をお迎えし、「消滅可能性都市だけど、けっこうすごい美浜町で、歴史を作る人を作る話」というテーマでご講演いただきました。

野間大坊を初めとする美浜町の観光資源や歴史について、楽しく語っていただきました。また、林先生が総合的な学習の時間において児童とともに活動した実践例についても紹介していただきました。

「調べて学んだことを最後には地域に返す」ことや「地域の人を味方に付け、巻き込んで学習を進める」ことの大切さをあらためて考え直すきっかけとなりました。

講演会の後半では、林先生が行っている「美浜まちラボ」の活動についても教えていただきました。林先生は、「子どもたちに大人が歴史を創っていく姿を見せたい！そして町の活性化に参加して欲しい！」という思いからご自身もNPO団体の一員として美浜町活性化に向けて活動してみえます。その情熱が、子どもたちを育てる一番の秘訣なのかもしれません。



参加者の声

- ◆ 児童に感心をもたせるため、また自分の住んでいる町を好きにさせるための努力をどうすればいいのかというのがとても強く伝わりました。
調べ、まとめるだけでなく子どもにとって自信となるように、結果として残る形で行動できるようにしていきたいです。
- ◆ 今回の講演を聞かせていただいて、自分の考えの甘さを感じました。自分の勤めている地域のこともあまり知らず、ごく普通に授業をしているなと思いました。
これから少しでも地域のことを知ったり、それをそれぞれの教科に絡めていけたりしたらいいなと感じました。
- ◆ 地元を愛する子どもが地域を発展させる。まさにその通りだと思います。社会の教員として、社会をつくる子どもを育成するために、今日多くのことを学べたと思います。調べて調べつくしてその土地を愛するからこそ、社会をつくる人を育成できると感じました。
- ◆ 何より先生自身が楽しんでいることがよく分かり、受けていて楽しいと思える授業とはこういうものでなければいけないと思いました。

他にも、多数の感想をいただきました！



林先生、本当にありがとうございました！！

